

## 臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院糖尿病・代謝・内分泌内科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の許可のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように個人のプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究にカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。不参加のお申し出があった場合も、患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

### [研究名称]

コロナ禍での糖尿病患者の生活変化と血糖コントロールの関係
------------------------------

### [研究の背景]

新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発令され、企業ではテレワークが推奨されました。外出の自粛なども呼びかけられ、糖尿病患者様においてもその生活習慣が大きく変貌したことが報告されています。 <sup>1)</sup> 糖尿病は生活習慣病ともいわれ、その生活習慣と血糖コントロールが密接に関わってくる病気です。今回我々は、当院通院中の2型糖尿病患者様から外来診察中に聞き取ったコロナ禍における生活習慣の変化と、血糖コントロールがどのように関わっているのかを、これまでに得られたカルテデータから解析します。この研究によって、こういった状況下において影響を受けやすい患者様を検討するのが目的です。
---

### [研究の目的]

診療録を用いて、疾患の頻度や分布、臨床的な特性及び疾患の診断法・治療・その他のケアの効果・安全性等に関して適切な解析を行うことにより、新たな診断法・治療法・予防法等を検討する資料とすること、他の方法で収集が困難な情報も含めて解析することで、疾病の予後や生活の質の改善、または健康の維持・増進に資する知見を得ることを目的としています。

## [研究の方法]

### 対象となる方

2020年4月1日から2020年11月30日までに当院へ通院された2型糖尿病の方
--

コロナ禍での生活習慣について記載がある方
----------------------

### 研究期間

研究許可日 ~ 2022年12月31日

### 利用するカルテ情報

採血データ、カルテ内の問診内容、居住地
---------------------

これらのカルテ情報を用いて解析を行います。

### 情報の管理

情報は匿名化を行って、直ちに個人が判別できる情報は含まれないよう加工されます。匿名化された情報から研究対象者を識別できる対応表は、研究責任者の指示に基づき施錠された場所またはパスワードで保護された電子情報として保管されます。保管期限は研究終了または論文公表から5年間です。

診療科(部署)名	糖尿病・代謝・内分泌内科
情報の管理者名 (研究責任者または研究分担者)	永井義幸

## [研究組織]

	職名	氏名	研究における役割
研究責任者	講師	志熊淳平	研究の総括
研究分担者	主任教授	鈴木亮	研究の指導
	准教授	三輪隆	研究の指導
	臨床講師	伊藤祿郎	研究の指導
	助教	永井義幸	データ収集と解析 情報の管理
	客員研究員	坂倉圭一	データ収集と解析

## [問い合わせ先]

相談窓口	担当者名	志熊淳平
	住所	東京都新宿区西新宿6丁目7-1
	施設名	東京医科大学病院
	診療科(部署)	糖尿病・代謝・内分泌内科
	電話番号	03-3342-6111 内線 5904(平日 9:00 ~ 17:00)

